

令和6年度

予算

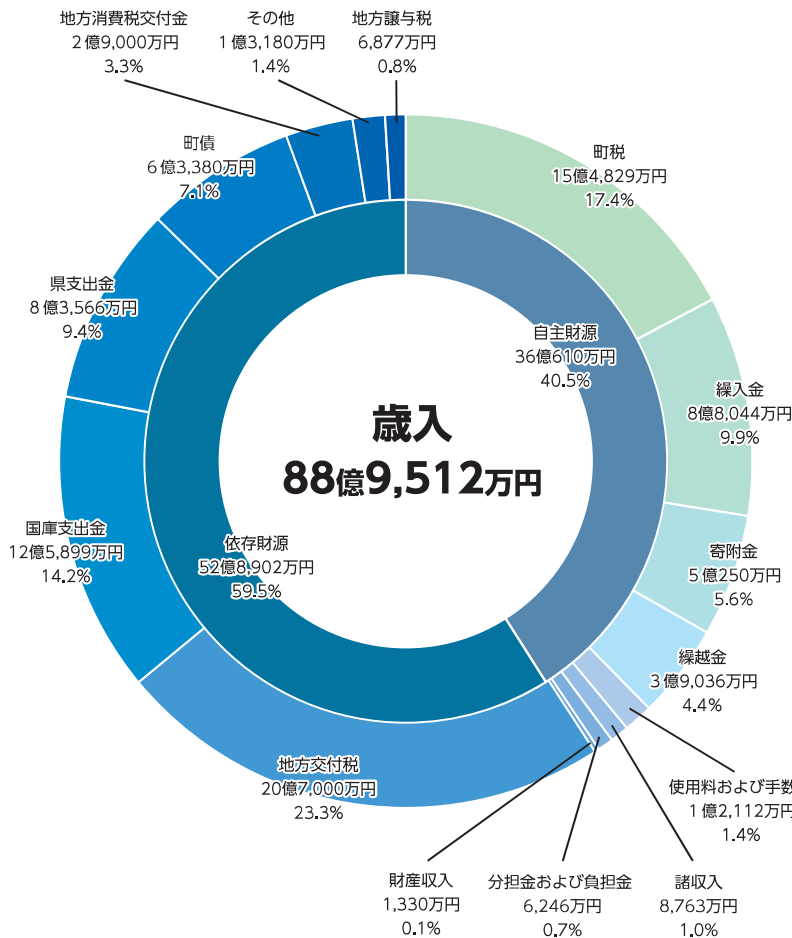


令和6年度の一般会計当初予算は3月町議会で一部修正のうえ可決されました。一般会計と特別会計・事業会計の予算総額は、121億1,653万円です。

「第5次総合計画」および「大刀洗よかまち創生プロジェクト」の各事業やマニフェストで掲げた政策を進めていくために必要な予算です。

※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

一般会計歳入内訳



一般会計予算総額

88億9,512万円

「第二期中山町政」の始動
子育て支援の充実と、
地域づくり

子育て支援体制の充実のため「こども家庭センター」の設置や、教職員が担う業務の効率化、負担軽減に繋がる校務支援システムを導入し、教職員の働き方改革および、教育の充実に取り組みます。

地域の交流の場であり災害時には避難所ともなる校区センターは、順次、大規模改修を進め避難所機能および利便性の強化に取り組みます。

また、現在の国が進めている重層的支援体制の整備に向けて複合的課題を抱える家庭への相談体制の強化や、課を横断した支援体制の充実に取り組んでいきます。

主要な事業は6ページで紹介しています。町の予算書はホームページにも載せています。

町税の内訳

町民税（個人）	5億440万円
町民税（法人）	5,016万円
固定資産税等	7億9,819万円
軽自動車税	5,890万円
たばこ税	1億3,664万円

その他の内訳

利子割交付金	40万円	配当割交付金	500万円
株式等譲渡所得割交付金	500万円	法人事業税交付金	2,000万円
環境性能割交付金	900万円	地方特例交付金	9,000万円
交通安全対策交付金	240万円		

【歳入】
 ▼町税 町民税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税等。
 ▼繰入金 基金（積立金）の取り崩し及び特別会計からの繰入。
 ▼地方交付税 国税の中から町の財政事情に応じて国から交付されるお金。
 ▼国庫支出金 特定の事業のために国や県から交付されるお金。
 ▼自主財源 町税や使用料など、町が自ら徴収、収納できる財源。
 ▼依存財源 地方交付税、国・県支出金、町債など、国または県が関わる財源。

【歳入】
 ▼基金 特定の目的のために資金を積み立てて、財産の維持や事業費財源として活用するために準備するもの。年度間の財源不足に備える「財政調整基金」や町債の償還に備える「減債基金」、公共施設や教育施設の整備、ふるさと振興など特定の目的を持った基金がある。
 ▼臨時財政対策債 地方交付税で保障されべき財源を国が確保できない場合、国の代わりに町が借り入れる町債。借入金の返済金は後年度の地方交付税額の算定に反映される。

【町債と基金】
 ▼町債 公共施設、下水道などの整備に充てた借入金で町が発行する地方債。公共施設等は将来にわたり使用できることから、世代間の公平性と財政負担の平準化の観点から必要な財源として活用している。
 ▼公営企業会計 民間企業と同様の会計基準に基づき、発生主義、複式簿記を採用して運営する会計。

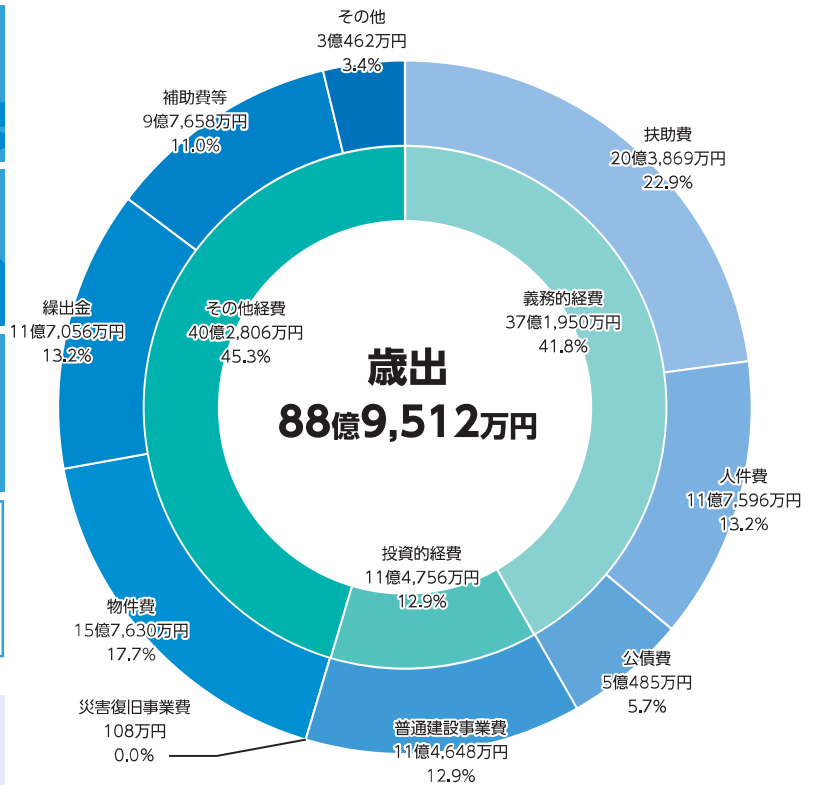
【各会計】
 ▼一般会計 町の基本的・全般的な経費を経理する会計。
 ▼特別会計 特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理する会計。

用語解説

一般会計歳出内訳 (目的別)

民生費 32億2,417万円 (20万695円)	総務費 16億2,942万円 (10万1,427円)	土木費 9億3,663万円 (5万8,303円)
教育費 8億3,814万円 (5万2,172円)	農林水産業費 7億6,559万円 (4万7,656円)	衛生費 6億1,167万円 (3万8,075円)
公債費 5億485万円 (3万1,425円)	消防費 2億5,352万円 (1万5,781円)	議会費 8,976万円 (5,587円)
その他 (商工費、災害復旧費など) 4,137万円 (2,575円)	() 内は町民1人あたり内訳 ※R6年1月末現在の住民基本台帳人口16,065人 一般会計予算額88億9,512万円を町民1人あたりに換算すると55万3,696円になります。	

一般会計歳出内訳 (性質別)



その他の内訳

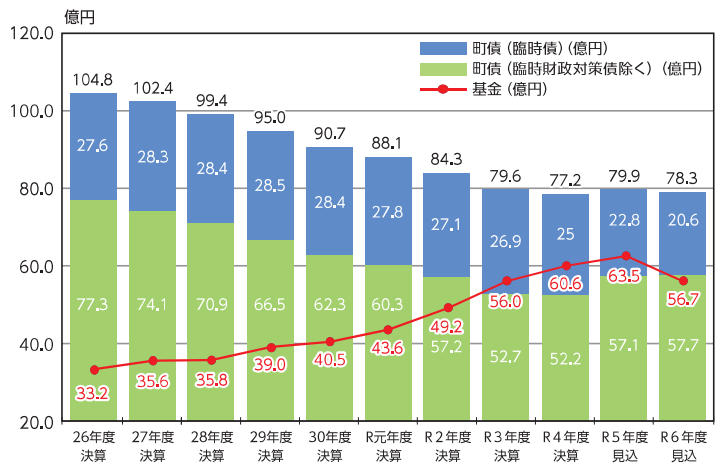
維持補修費	1,768万円	積立金	2億7,573万円
投資および出資金	90万円	貸付金	31万円
予備費	1,000万円		

特別会計・
公営企業会計予算総額
32億2,141万円

【会計名】 (前年度比)

特別会計	内容	金額 (億円)	前年度比 (%)
特別会計	国民健康保険	17億5,423万円	-2.3%
	後期高齢者医療保険	2億7,393万円	+12.6%
	土地取得	480万円	+0.5%
公営企業会計	下水道事業	11億8,845万円	-0.8%
	収益的支出	6億7,261万円	-8.5%
	資本的支出	5億1,584万円	+11.6%

町債および基金残高 (年度末)



- 【性質別歳出】 地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分される。
- ▲ 扶助費 社会保障制度の一環で、生活を維持するために支出する経費。児童手当、障害者自立支援費、各種医療給付費等。
 - ▲ 人件費 常勤職員給与、非常勤職員報酬、社会保険料等。
 - ▲ 公債費 事業を行うために借りたお金(町債)の元金・利息等を支払う経費。
 - ▲ 普通建設事業費 道路、橋りょう、学校等の新増設事業費等。
 - ▲ 災害復旧事業費 豪雨や台風等自然災害被害の復旧に要する経費。
 - ▲ 物件費 光熱水費や物品購入、委託料等の消費的経費。
 - ▲ 緑出金 特別会計に対して繰出すお金。
 - ▲ 補助費等 各種団体等への補助金、構成員等の割合に基づき負担する負担金等。
 - ▲ 義務的経費 人件費、扶助費、公債費など支出が義務付けられる経費。
 - ▲ 投資的経費 道路整備や学校建設など、社会資本の整備に要する経費。
 - ▲ その他の経費 物件費や維持補修費などに支出される経費。
- 【目的別歳出】 地方公共団体の経費を行政目的別に分類するもの。
- ▲ 民生費 障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費。
 - ▲ 総務費 行政運営、選挙、自治振興等行政全般の事務に関わる経費。
 - ▲ 教育費 学校教育・生涯学習の充実、文化スポーツの振興に係る経費。
 - ▲ 農林水産業費 農業振興のための支援や農業生産基盤整備などの経費。
 - ▲ 土木費 道路や河川、住宅、公園など社会資本の整備・管理に係る経費。
 - ▲ 衛生費 環境保全、疾病予防、健康増進などの経費。
 - ▲ 消防費 消防署や消防団の運営に係る経費や防災に関する経費。
 - ▲ 議会費 議会運営のための経費。
 - ▲ 商工費 商工業や観光の振興などに関する経費。

このような事業に取り組みます

令和6年度に取り組む主な事業を、新規事業を中心に第5次大刀洗町総合計画の基本目標に沿って紹介します。

※財源は、主なものを記載しています。
 心のマークはふるさと応援基金を活用した事業です。



1 豊かな暮らし (快適、美しい、安心、賑わい)

継続 のりあい定額タフシー事業

620万円

(県補助100万円、基金等520万円)
 町内の移動手段を充実させるため、タフシー事業者と連携し利用者負担を定額とする乗合タフシーを引き続き運行します。

新規 共創・Maas美証プロジェクト事業

488万円

(国補助488万円)
 町内の移動ニーズとサービス提供体制を調査・分析するとともに、タフシー事業者等と連携しながら、早朝及び夜間帯の美証運行を行います。

新規 小型家電リサイクル事業

92万円

(一般財源92万円)

各区の集積場に出された不燃ごみや粗大ごみの中から、町の収集運搬委託業者に委託してデジタルカメラ等の対象品目(小型家電28分類)を分別し、より高度なりサイクルを行います。

新規 街路樹診断事業

73万円

(一般財源73万円)
 菊池小学校横の町道および大刀洗公園内にある桜の健康状態を診断し、桜並木の管理の在り方を検討します。

継続 ため池浚渫工事

3億6404万円

(県補助3,000万円、地方債3億3,400万円)
 防災重点ため池に指定された、琵琶ため池(本郷)、十三塚ため池(甲条)の2か所の浚渫工事を行い、下流域の農地等の洪水被害や、土砂流出被害の軽減を図ります。

継続 ため池耐震調査業務

758万円

(県補助758万円)
 防災重点農業用ため池のうち、防災工事等推進計画に基づき中島ため池(山隈)について地震・豪雨などの耐性評価を実施します。

新規 創業・新事業展開補助金

200万円

(基金等200万円)

町内での創業や新事業展開に必要な経費の2分の1(最大50万円)を補助します。
 ※移住や雇用増の場合は増額。(+10万円)(最大60万円)

2 輝くひと (健やか、温かい、学び)

継続 子ども医療費支給事業

9,813万円

(県補助3,904万円、基金等5,811万円)

高校生世代までの子どもを対象に、健康保険の診療対象となる医療費の自己負担額を一部助成します。

新規 大腸がん検診及び前立腺がん検診の個別検診業務

189万円

(一般財源189万円)

大腸がん検診、前立腺がん検診を小郡三井管内受託医療機関で個別検診として実施します。

新規 校務支援システム導入事業

729万円

(県補助300万円、基金等429万円)
 児童生徒名簿、出席簿、指導要録等、教育現場で使用する様々なデータを電子化し二元管理するシステムを導入します。

新規 大堰小学校・本郷小学校体育館照明LED化工事

1,430万円

(国補助476万円、地方債850万円)
 小学校の体育館の照明をLED化する工事を行います。

新規 町立図書館及び小学校図書館の図書館システムの更新

1,804万円

(一般財源1,804万円)
 町立図書館および小学校図書館(5校)の図書館システムをWindows11に対応したシステムに更新します。

新規 重層的支援体制整備

1,027万円

(国補助1,025万円)

高齢・障がい・児童・生活困窮といった複合的課題を抱える家庭への相談体制強化、課を横断した支援体制、地域参加づくりを進めます。

3 繋がるまち (協働、拓く)

継続 校区センター大規模改修工事

1億2,311万円

(地方債1億2,000万円、基金300万円)

安全で快適な地域活動を行うために老朽化した校区センターの大規模改修を行います。

【令和6年度】ふれあいセンター実施設計、南部コミュニティセンター大規模改修、就業改善センター大規模改修

継続 対話のまちづくり事業

509万円

(県補助170万円、基金等339万円)
 まちづくり人材に必要な対話力を培うため、町民および職員の人材育成を行います。

「大刀洗みらい研究所」で慶応大学と連携した地域活性化プロジェクトの実施や「大刀洗つながりの学校」P.L.A.T.で対話を学ぶ講座を開催します。